

○第8次中期計画の取り組み事項 総括

基本方針 (1)	「農業者の所得増大」「農業生産の拡大」を通じた活力ある地域農業への挑戦	
重点方針		総括
1	農業生産基盤の強化と地域の課題解決	<p>○新規就農サポート事業(上浦)では令和4年3月現在で、7名が研修を修了し独立自営就農しました。現在は4名が研修中です。また、陸地部の新規就農研修で2名が研修中です。引き続き行政と連携して就農相談会に出展し新規研修生の募集を行います。</p> <p>○地域・行政と連携して農地相談等の対応をしています。「地域農業リーダー」育成研修については、令和元年度しか実施ができておりませんが、園地流動化の取り組みを引き続き進めました。平成30年7月の西日本豪雨での被災園地の復旧工事が開始され、次年度の営農再開をめざします。</p> <p>○愛媛県認定「地域鳥獣管理専門員」の講座に3年間で4名受講し、専門員の認定を受けました。今後も、各地域で行政と連携して有害鳥獣害対策に取り組みます。</p>
2	農畜産物の生産と販売体制の整備と強化	<p>○農畜産物の販促活動は、コロナ禍の中、TVCM等のメディア活用を中心に実施しました。しまなみ彩野菜や県、JAのブランド農産物を活用した販売促進活動で、おちいまばり農畜産物の認知度向上に取り組みました。</p> <p>○直販体制の充実・強化を図るため、直売所連携やポータルサイトJAタウン等ネット販売、ゆうパックを活用した販売により、紅まどんな、甘平、せとか等の柑橘類や、仙高ポーク等で管内農畜産物の販売を行い、地域農業の活性化に取り組みました。</p> <p>○重点品目を中心に、ブランド作りを進め、柑橘、畜産物等の販売量拡大を図りました。特に里芋(伊予美人)については、令和3年度において目標を大幅に上回り、16,858万円の販売高となりました。</p>
3	農業経営支援の充実化	<p>○農家の経営リスク軽減に向け、農家経営支援体制の構築、収入保険加入に繋がる青色申告支援を実施しました。今後は、税務支援体制の整備を営農部門と金融部門で連携した推進体制の構築を進めていきます。</p> <p>○肥料高騰に対応するため、予約購買による安定供給を進めました。農機事業は、全農と県内4JAによる農機一体運営事業を開始しました。今後、労働力支援体制の充実のため、心耕隊の活用や労働力マッチングのアプリ紹介を進めていきます。</p> <p>○コロナ対策助成金等の支援を実施しました。補助事業については、機械化支援、施設整備を中心に、行政と連携して申請手続きを進めました。今後も助成事業の活用を通じて経営改善の提案を行います。</p> <p>○営農部門と金融部門で連携を取り、指導と財務指導両面にわたるサポート態勢を構築し、3年間で1,390回の担い手訪問を実施しました。</p>